

インド：モンスーン期の降雨状況

イーストスプリング・アジア・ナウ

Vol.58

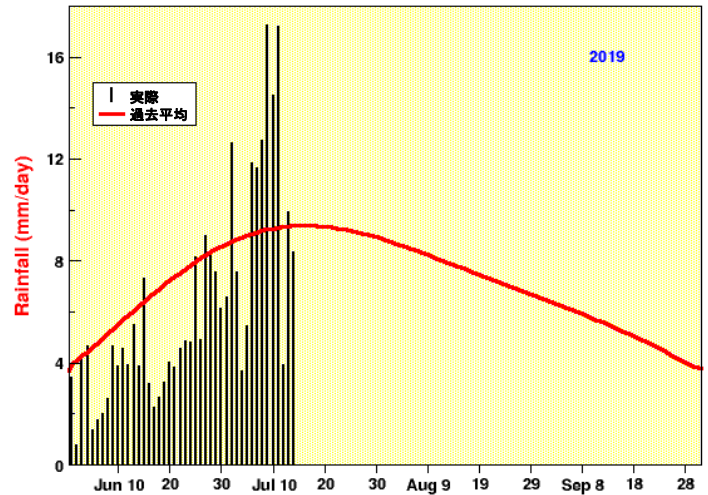
eastspring
investments

出足の鈍かった2019年モンスーン期の雨量は持ち直す動き

干ばつが心配されたものの、雨量は少し持ち直す動き

- ▶ インドでは1年の降雨量の大半がモンスーン期（6～9月）に集中して降るため、この時期の降雨量が農業だけではなく生活用水の観点からも非常に重要です。インドの総人口の半数以上が農村部で生活しているため、農作物の収穫量や食品価格を左右するモンスーン期の降雨量が、インド経済に大きく影響します。
- ▶ 2019年のモンスーン期は平年より一週間遅い6月8日に始まりました。インド気象局の予想では、今年は平年並みの雨量が見込まれています。しかし、モンスーン期開始直後は雨が少なく、6月の降雨量は平年を33%下回りました。
- ▶ こうした降雨状況から干ばつが心配されていましたが、7月に入って雨量は持ち直す動きとなっています。7月15日時点では、モンスーン期の累積降雨量は平年を13%下回る水準まで持ち直しました。例年では、7月中旬にかけて雨量は増加する傾向にあることから、今後の降雨量が注視されています。

2019年モンスーン期の日次雨量*



* 6月1日～7月14日。
出所：インド気象局

現地レポート

7月月初に降った大雨で、ムンバイ市内は至る所が水浸しに

ムンバイの7月2日午前中までの24時間の雨量は、1975年以降で2番目を記録しました。ムンバイ市内は至る所が冠水し、出勤にも一苦労です。

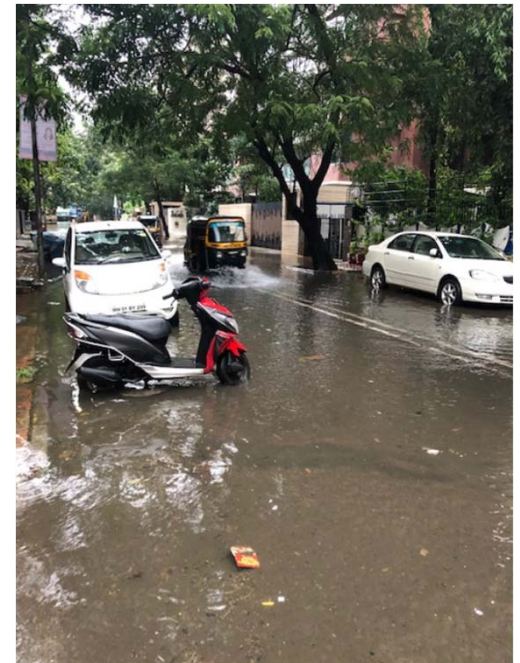
下：オフィス街の道路は水没。



上：道路が川のような状態に。



右：住宅街も冠水。
この日は水が濁っておらずまだ道路の状態が見えますが、濁っているとマンホールの蓋が開いていても分からないため危険です。



(写真：いずれもムンバイにて弊社社員撮影)

※当資料は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社が、情報提供を目的として作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。※また、特定の金融商品の勧誘・販売等を目的とした販売用資料ではありません。※当資料は、信頼できると判断された情報等をもとに作成していますが、必ずしもその正確性、完全性を保証するものではありません。※当資料の内容は作成日時時点のものであり、当社の見解および予想に基づく将来の見通しが含まれることがありますが、将来予告なく変更されることがあります。※また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。※当資料で使用しているグラフ、パフォーマンス等は参考データをご提供する目的で作成したものです。数値等の内容は過去の実績や将来の予測を示したものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。※当社による事前の書面による同意無く、当資料の全部またはその一部を複製・転用並びに配布することはご遠慮ください。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第379号／加入協会 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

英国ブルーデンシャル社はイーストスプリング・インベストメンツ株式会社の最終親会社です。最終親会社およびそのグループ会社は主に米国で事業を展開しているブルーデンシャル・ファイナンシャル社とは関係がありません。